

令和8年度 第1回 大洲市子ども・子育て会議 要録

- | | |
|--------|--|
| 1 名 称 | 大洲市子ども・子育て会議 |
| 2 日 時 | 令和8年7月23日(木) 14時00分～15時10分 |
| 3 会 場 | 大洲市役所第1別館3階第1会議室 |
| 4 出席者 | 委員15名
大久保一宏、長内美夜子、影浦紀子、木元健、源田加奈子
小西秀司、白武和嘉子、土居政次郎、中野賀津記、長谷晃徳
西平有喜子、新田星児、濱田優子、山崎勝弘、渡邊美雪
(五十音順、敬称略)
事務局13名(門多子育て担当部長及び事業関係担当課職員) |
| 5 欠席者 | なし |
| 6 傍聴者 | 5名 |
| 7 協議事項 | 子ども・子育て支援事業の進捗状況について |
| 8 報告事項 | 令和8年度新規及び拡充事業について
① こども誰でも通園制度の実施状況
② 大洲市こども計画策定後におけるアンケート
③ 1か月児健康診査
④ 乳幼児健康診査にかかる実施体制の変更
⑤ 学校給食費(食材費)の抜本的な負担軽減
⑥ 大洲市子どもインフルエンザ任意予防接種費用助成事業 |
| 9 その他 | |

<協議事項>

子ども・子育て支援事業の実績について

事務局説明

事務局より令和7年度子ども・子育て支援事業実績について、全13事業の目的と内容の説明、評価を報告した。

質疑・意見交換

(委員) 特に意見なし

<報告事項>

- ① こども誰でも通園制度の実施状況
- ② 大洲市こども計画策定後におけるアンケート
- ③ 1か月児健康診査
- ④ 乳幼児健康診査にかかる実施体制の変更
- ⑤ 学校給食費（食材費）の抜本的な負担軽減
- ⑥ 大洲市子どもインフルエンザ任意予防接種費用助成事業

事務局説明

事務局より①～⑥の事業及び業務について資料に基づき説明を行った。

質疑・意見交換

①こども誰でも通園制度の実施状況

（委員）利用者からの声に「転入したばかりで市の子育てサービスがわからなかったが、保育士から情報提供を受けられた。」とあるが、この制度に限らず子育てに関することについて転入者はどのように情報を得ているか。どのような周知をしているか。

（事務局）市のホームページの子育てサイト「るるる」で周知しているほか、国のシステムで市内の公立私立全ての就学前施設等の情報が発信されている。また保護者はアプリ等を活用し、必要な情報を得ることができるようになっている。

こども家庭センターでは、転入者等に対し、漏れがないよう支援サービスの案内をしている。

②大洲市こども計画策定後におけるアンケート

（委員）情報を見えることは大事で「るるる」を時々覗いている。計画策定後のアンケート調査分析は、専門的な機関が行っているのか、担当者が行っているか。

（事務局）こども計画策定時については、専門業者が分析を行ったが、今回のアンケートは、計画推進のために必要な設問としているため、担当者が集計し、結果の共有を行い施策に反映するものである。

（委員）いじめについて、保育指針や指導要領等で定められていることが、身につくように教えられているか。就学前、低学年の間の指導が大事である。

（委員）校長会を通じてアンケートの依頼があった。②1～4年生保護者と③就学前児童保護者についての回答率はどのぐらいか。

（事務局）②約 45.3% ③約 45.8%

（委員）回答率が上げるよう施設、学校からも周知や声掛けが必要と考える。

③1か月児健康診査

(委員) 小児科と産科では特徴が異なるが、その説明は行っているか。

(事務局) 保護者の希望でどちらでも受診可能としている。母親の健診に合わせての場合は産科、こどものことで心配があるような場合は小児科をお勧めするが、特に違いの説明は行っていないため、今後丁寧な説明を心がける。

④ 乳幼児健康診査にかかる実施体制の変更

特に意見なし

⑤ 学校給食費(食材費)の抜本的な負担軽減

(委員) 保護者の意見で、家庭からの支出がなくなりありがたいという声がある一方で、物価高騰の情勢の中、1食の単価が安すぎると、給食の質を心配する声もある。

(事務局) 給食費より食材費の方が高額になっているが、公会計化しているためその予算の確保はできている。物資選定委員会で試食を実施していること、また栄養教諭3人体制で質の確保を行っている。

(委員) 小学校の年間負担額より中学校の年間負担額が少ないのはなぜか。

(事務局) 中学校はテスト期間や総体などがあり、年間の食数が少ないためである。

(委員) 今の給食は、メロンなどの果物や外国のメニューがあり年々充実してきたと感じている。

⑥ 大洲市子どもインフルエンザ任意予防接種費用助成事業

(委員) とても良い事業を進めてもらっている。インフルエンザ予防接種は毎年のもので、発症予防効果は高くないが重症予防効果は高いものである。しかし、夕方や土曜日に接種が集中し、医療機関の負担が大きくなるので、コロナの時のような助成があると負担軽減になる。

(事務局) 今後の様子を見て、医師会と相談する方向としたい。インフルエンザは冬に、コロナは夏と冬に流行するため、感染症受診と予防接種時期が重なることとなる。市内医師の負担が減るよう医療相談アプリの利用を進めていく。

その他

(委員) 医療的ケア児のレスパイト入院について、きょうだい児の受験シーズンで預かってもらえる所がないと聞く。情報があれば教えてもらいたい。

(事務局) 本日は、担当の社会福祉課が参加していないため即答はできないが、この後、担当につなぐことができる。

その他(議事終了後)

(事務局) 次回会議は令和9年2月18日(木)か25日(木)14:00～